



# しばた議会だより



さくら歩道橋

新名所発見!

|                        |    |
|------------------------|----|
| ■3月定例会・20年度予算を可決 ..... | 2  |
| ・議員定数報酬等調査特別委員会最終報告 .. | 10 |
| ・一般質問 .....            | 12 |
| ■「追跡」あれはどうなった .....    | 11 |
| ■常任委員会レポート .....       | 19 |
| ■あなたの一言 .....          | 20 |



# 未来にむかつて

## 平成20年度予算

1年ぶりの新規事業含む

**総額97億円の予算を可決**

平成 20 年 3 月定例会は 3 月 7 日から 24 日までの日程で開催されました。

乳幼児医療制度の拡充や、学校改築のための基金創設などの新規事業を計上した一般会計予算をはじめ、提案された議案すべてを原案のとおり可決しました。

開会日冒頭、町長が施政方針の中で「財政破綻回避」を表明。その後、予算案に対する総括質疑、予算審査特別委員会で議論の焦点になりました。

# 財政再建プラン1年

## 何が変わったか

### 一般会計は前年比0.9割増で1年ぶりに新規事業も

20年度予算のポイント  
は、以下のとおり。

- ① 主な収入源の一つである国からの19年度地方交付税が予想より2億3千万円多かつたこと。
- ② 所得税(国)と町県民税の割合が変わり、町税収入が1億円多かつたこと。
- ③ ①②によって、いざというときの財源となる財政調整基金などに7億6千万円の積み立てができたので、25年度まで予想されていた約8億円の財政赤字を補えるようになったことです。

1年ぶりに取り組む主な新規事業として、乳幼児医療費無料制度の通院時の窓口負担をこれまでの3歳から4歳まで引き上げ、学校教育施設整備基金積立に5千万円、剣崎地区橋りょう整備基金積立に3千600万円を計上しています。

町財政の明るい兆しはありますが、昨年から財政再建プランは続行中で、27年度まで続きます。

### 続行中の財政再建プラン(主なもの)

- ① 町長、副町長は月額25割、教育長は月額20割カット
- ② 職員給与月額5割の給与カットを続行中。(削減額1億2千万円)(議員報酬は、一時的なカットではなく基本となる月額を5割減額しました。)
- ③ 職員定数の削減
- ④ 事務事業の整理合理化
- ⑤ 税収の確保(滞納整理)

## 残される懸念と今後の方向

今年度予算は、国の制度変更などが予想以上の後押しとなり、明るい兆しが見えてきました。これには財政再建にかかわって、町民のみなさん

のご協力、町執行部、職員の努力も見逃せません。しかし、それと同時に

考えなくてはならないのは、税収が増えたからといって町民のみなさんの収入が増えたわけではなく、むしろ新たな負担が増えた方も数多くいます。

さらには、国の「構造改革」「三位一体の改革」の基本路線である地方予算の削減の方向は変わっていません。地方分権が

地方関係予算によって財政が大きく左右される事に変わりはありません。

今年度からの「地方再生対策予算」も「当分の間」とただし書き付です。国の政策が変わらない限り、平成15年度のように突如として地方交付税が大幅削減されたりする場合もあり、楽観はできません。

議会としても、国の動向や、町民のみなさんの声などを念頭におき、町政について、時には批判的に、時には町執行部と協力し、町民のみなさんに最善の利益があるように町政のチェックと、政策提案を進めていきます。

## 討論

### 反対討論

広沢 真 議員

平成20年度一般会計予算案は財政再建の努力で好転しているが、町民の暮らしは一層苦しくなっている。

後期高齢者医療制度で高齢者は負担増になる。さらに町民生活援助策を考慮すべきである。

### 賛成討論

我妻 弘国 議員

町税・法人税・地方交付税などは、歳入確実な範囲としており、歳出は、維持管理重視で、継続的に発展するための政策に予算化され、後期高齢者医療特別会計は、老人保健事業に変わるもので賛成とする予算案である。

20年度

# 町政運営について

## こう切り込んだ

総括質疑は、3月定例会の当初予算と9月定例会の決算認定の際に行います。総括質疑では、施政方針や予算案に対して一括して質疑します。今回は5人の議員が総括質疑を行いました。その概要をお伝えします。

### 総括質疑



小丸 淳 議員

#### 問 厳しい財政運営の中で町政の持続発展策は

- (1) これからは、少子高齢化人口減少社会に入り、経済縮小時代へ向かう。必然的に町の税収は減少、国の債務残高から見れば国に頼ることもできない。町民の行政需要はますます増大する中で町政を持続発展させる方策は。
- (2) 財政健全化法の施行に伴い、健全化判断比率を表す指数の試算は。
- (3) 種々の政策や事業が計画されているが、個々の政策や事業を見ると在来の行政主導型の総花的平板的である。重点指向は何か、どういうまちづくりをしていくのか組み立てることが必要では。

#### 答 当面厳しいが26年度以降明かりを取り戻す

- (1) 25年度まで厳しい財政運営を強いられる。26年度には借金が18億円から一気に10億円に減るので浮いた8億円で行政サービスの水準を下げずに町政を持続的に発展させていくことができる。
- (2) 比率指数の公表は19年度決算からであるが、
- (3) イエローカードを突きつけられる心配はない。
- (4) 予算は、少子化対策、生活環境整備、学校教育の充実、地域産業の活性化と経済再生、生涯学習の振興と施設整備修繕を重点に町民の目線に立つた事業評価をしながら編成に取り組んでいる。

#### 問 住民に見えるまちづくりを

- (1) 町の10年分の事業を開示し、政策の意思決定に住民の意思を採用すべきと思うが。
- (2) 財政再建が進み、概木中の改築は平成23年からできるはず。その他公共施設の耐震診断は。
- (3) 滝口町政6年目。どんな町にするのか全然見えない。
- (4) 過去にふるさと創生基金を一般会計に活用。今回はスポーツ振興基金を安易に使用し、関係施設を補修するのはなぜか。
- (5) 施政方針の概木関連事業が、中核都市への力量発揮となるのか。

#### 答 住民にも政策形成にかかわってもらおう

- (1) 事業192件、総予算422億円、精査・公開して、住民にも政策形成に関わっていただく。
- (2) 財政も考え、船岡中体育館から改築・耐震未診断の26施設中20年度は保育所等19施設を実施。
- (3) コンパクトシティの概念が先行し、具体像を
- (4) 明確に提示できなかった。四力所周辺を核に、職員による委員会を今年立ち上げる。
- (5) 目的の主旨に沿って活用し、大規模なスポーツ施設整備時には基金積み立てを考える。
- (6) 今後は社会資本整備に努力する。

### 総括質疑



佐藤輝雄 議員

問 20年度予算編成の特徴は

- (1) 町長は施政方針の中で、本町の自立戦略に自信をみながらさせているが、その理由は。
- (2) 20年度予算は何に配慮して編成したのか。また、その特徴は何か。
- (3) 19年度の基金残高は最終的にどのくらいになると予想しているのか。
- (4) 合併による職員の削減効果がPRされているが、県内の合併自治体と柴田町の削減実績の比較はどうか。
- (5) 合併はまちづくりの一つの手段にすぎない。三町合併のラストチャンスと盛んに宣伝されているが町長はどう思うか。

答 28項目の新規事業を  
予算措置した

- (1) 町は財政再建プランの実施で財政危機を乗り越え、自立できる地域力が着実についたと考える。
- (2) 真に必要なサービスを確保し、将来の持続的な発展も配慮しながら、柴田町学校教育施設整備基金の新設など新規事業として28項目の予算措置を行った。
- (3) 最終的に8億3千400万円前後になると想定。
- (4) 集中改革プランによる削減実績は合併した自治体よりも進んでいる。
- (5) 今後道州制も検討され、柴田町の将来や住民のために合併が必要とされるのであれば、22年3月以降でも可能。



大坂三男 議員

総括質疑



広沢 真 議員

問 財政危機は回避されたか

- (1) 施政方針で財政再建団体転落は回避されたとしているが、20年度予算に關わって回避されたとする根拠は何か。
- (2) 農業後継者不足、農地の流動化に対しての独自策をどう考えるか。
- (3) 下水道工事の予算は毎年多額の予算をつぎ込んでいる。さらに下水道が使用できる人をふやすため、工事費用の助成額を増額できないか。
- (4) 地域防災計画の内容が古く現実に合わなくなっている。平成19年度から見直しに取り組みしてきたが、平成20年度中にできるのか。

答 赤字補てんの目途がたった

- (1) 25年度まで8億円歳入が不足するが、19年度の地方交付税が思っていた以上に増えたことや町税収入が1億円増えたこととあつて基金に7億6千万円の積み立てができ、赤字補てんの目途が立った。
- (2) 国の「水田経営所得安定対策」に沿って認定
- (3) 農業者や一定の条件を備える集落営農組織の育成に努めていく。
- (4) 下水道工事への助成は現行どおり、工事は優先地域を考慮し進める。
- (5) これまでも19年、20年度で見直すとしてきたが20年度中に見直す。

問 3町合併は住民の  
見えるところで議論を

- (1) 住民自治基本条例は今年最大の政策目標だと言っているが、町長の意気込みにも關わらず、周りは意外と冷めている。意地を通せば世の中が窮屈にならないか。
- (2) さきに大河原町の住民投票と、大河原町議会
- (3) 行政区は、それぞれの地区の文化と歴史によつてはぐくまれてきたものだ。それを行政の都合で一方的に見直すのはいかがなものか。

答 合併推進の代表と  
意見交換する

- (1) これまで、すべて行政頼みでやってきたものを、にわかに住民自治に関心を持つてもらおう難しさはあるが、いざれ関心も深まっていくものと思う。
- (2) 法定合併協議会の住民発議が出された場合は、議会に諮る前に、県南中核都市実現の会代表や、住民発議代表者に出席を要請し、町主催の意見交換の場を設けたい。
- (3) 行政区の見直しは、今の実態を踏認した上で、より活性化されるよう、すべての内容について包括的に支援できないか検討するものである。



杉本五郎 議員

総括質疑

# あなたの税金

## どのように使われるか？

### 予算審査特別委員会

3月17日に予算審査特別委員会を設置し、20年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計について審査を行い、3月24日に終了しました。質疑、答弁の内容を一部紹介します。

## 歳入

### 地方交付税の算定根拠は

**質疑** 地方交付税は前年度当初と比較して9千万円増えているが、算定の根拠は。

**答弁** 交付税の算定係数が複雑で予算編成段階での見込みは大変難しく、この時点では多少堅く見込まざるを得ない。

20年度には地方間の税収格差是正のため地方再生対策費が6千万円上乘せして交付される。反面19年度の法人税がかなり伸びたので、その分減額されることを予測している。

トータル的には安全性を考慮したうえで対前年度当初予算比9千万円増の金額となった。

### 槻木事務所の休日受付継続を

**質疑** 槻木事務所は4月1日より休日を完全閉庁とし、戸籍などの休日受けは廃止すると「お知らせ版」に掲載された。

住民サービスの低下につながることを、突然にしかも事前に議員や住民の意見を聞かずに決めたことは問題であり元に戻すべきである。

**答弁** 委託業務で休日受けを行なっていたが利用者が少ないと判断し、事業の見直しの形で廃止を決定した。

議会や利用者には相談せず決めたことは大変申し訳なく反省している。

したがって従来どおり休日の受けは継続することとする。

今後は議会や利用者の声をよく聞きながら検討していく。



槻木事務所

### 財政健全化法で柴田町は合格か

**質疑** 財政健全化法が施行され連結実質赤字比率など新しい指標が示された。この指標が適用されると基準に引つかかる自治体が多く出ることが懸念されている。

町の財政状況は大変厳しい状態が続いているが、この先数年間にわたる財政推計にこの指標を当てはめてみた場合にどうなるのか。

**答弁** 健全化法では実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の四つの指標が示され19年度の決算から適用される。

町は実質公債費比率が高い水準で推移しているものの、すべての指標について基準を超えることはなく、問題はないと判断している。

### 町税の滞納にどう取り組むか

**質疑** 町税の調定率（予算上の収入見込み）が予算上97・5割に設定され、前年度比0.5割下がっている。下がった理由は何か。

**答弁** 調定率は過年度分の滞納繰越分にも影響された。また税源移譲により所得税から個人住民税の方に負担が強いられたこともあり、県内の各市町とも1割から1.5割ぐらい収納率が落ちているのが現状である。徴税担当としては98割を維持するよう全力で取り組む。

### 子どもと親のための相談事業とは

**質疑** 県支出金として「子どもと親の相談員等活用調査研究委託金」と「問題を抱える子ども等の自立支援事業委託金」が計上されているがどのような制度か。

**答弁** 「子どもと親の相談員」制度は槻木小と柴田小に相談員を配置して不登校児童の話し相手や悩み相談に応じる。

「問題を抱える子ども等の支援事業」は不登校、いじめ、虐待などに対処するための相談事業で各学校や教育委員会に相談窓口を設けている。



# 歳出

## 町民相談事業とは

**質疑** 町民相談事業と消費生活相談事業の内容と相談件数は。

**答弁** 町民相談事業では人権相談と行政相談があり、10名と2名の委員が相談に応じている。

消費生活相談事業では相談員1名が役場庁舎で週3回相談に乗っている。18年度の相談件数は147件。相談内容は契約の解除関係、借金問題、架空請求関係、振り込み詐欺等の相談が60件に達し、町内でも高齢者を狙った悪質な詐欺等が増えている傾向がうかがえる。

町では「お知らせ版」で繰り返し周知・啓蒙に努めていく。

## しらすぎ共同作業所はどうなる

**質疑** しらすぎ共同作業所の改修費用として2千300万円が予算化されている。同作業所は20年度から施設の機能や事業内容が変わると聞いたが今後どのような形になるのか。

**答弁** 障害者自立支援法に基づく地域活動支援センターにするために建物の改修を行う。このセンターでは利用者への生産活動の機会を提供するとともに、創作的活動を通じて社会との交流を促進



しらすぎ共同作業所

することを目的とした事業を行う。定員は約20名で現在のしらすぎ作業所の利用者には引き続き利用していただくことになる。

## 介護保険料はどうなる

**質疑** 介護保険の制度改正後、要介護と判定される人が減少し、要支援1、2と判定される人が増えて国の介護給付予算が減額になっている。

町の介護給付が増えると思いが介護の現状と、今後の保険料についてどう考えるか。

**答弁** 介護給付費は19年度で見ると18年度より下回る見込みである。ただし、町の介護対象者は毎年約150人のペースで増えていく。来年度以降、保険料も200円ぐらいの値上げが考えられるが、現時点では基金を活用し、できる限り抑えていきたいと考えている。

合併処理浄化槽



## 学校の改修工事費の内容は

**質疑** 小中学校の工事請負費660万円でどんな改修工事を予定しているのか。

**答弁** 主な内容は次のとおり。

柴田小学校と船迫小学校ではプール改修を行う。東船岡小学校では浄化槽の配管の交換を行う。西住小学校では高圧受電設備の改修を行う。榎木中学校では赤水対策のため、水道管の洗管作業を実施する。

## 公共下水道事業の見直しを

**質疑** 最近、自治体が公共下水道の整備事業を拡大し続けていくと財政破綻を招きかねない指摘されている。

多額の資金を投入しても投資効果が少なく、また下水道管の維持管理費用が増え続ける可能性がある。合併浄化槽への切替えを考慮し、整備計画の見直しを行うべきではないか。

**答弁** 国や県では見直しを図る方向。これまでどおりの整備を主体とした事業展開から経営基盤の確立や維持管理を重視する考え方に転換することが求められている。

合併浄化槽は単独設置が可能で大規模な設備投資が不要であり、経済的な利点がある。公共下水道と合併浄化槽の役割や効率性を十分に調査、検討し整備計画の見直しを行っていく。

## さくらの保護育成は

**質疑** さくら育成管理費が昨年の4倍ぐらいいなっている。どのような取り組みをするのか。

**答弁** 本町の桜は「日本の桜百選」に選ばれており、できる限りの予算措置をして、より一層維持管理に努めなければならないと考えている。

城址公園790本、白石川右岸258本、白石川左岸126本計1千174本を対象として消毒は毎年、枝払いは2年に1回程度行なう計画である。



さくらの管理作業

3月  
例会  
定例

# 本会議審議

(本会議での審議内容の一部をお知らせします。)

職員自己啓発等休業に  
関し地方公務員法の改正  
により、職員の能力向上  
になると認められるとき、  
大学履修や国際貢献参加  
のため休業を承認できる  
新たな条例が提案され可  
決しました。

反対討論

我妻 弘国 議員

本条例は、最近の大学  
及び大学院課程履修年限  
が考慮されておらず、国  
際貢献活動の奉仕活動で  
は誤解を招く文言が使用  
されている。さらには非  
支給の給料となっていて、  
職員の自己啓発を促す条  
例として不備である。

賛成討論

大坂 三男 議員

この制度は町が業務上  
の必要性で研修等に職員  
を派遣することとは違い、  
「自己啓発のため」とい  
うところに意義がある。  
この条例により、長期  
休業をとつても身分が保  
障されることになる。

質疑 休業中の職員の身  
分はどうなるのか。

答弁 在職3年以上の勤  
務良好な職員から、休業  
申請があれば最大3年間  
とし、身分は保障する。  
休業中、給与は支給し  
ないが、復職後調整する。

反対討論

白内恵美子 議員

あくまでも公務に関す  
る能力の向上であり、勉  
強したことを町政に生か  
すという思いのある人の、  
生活の保障が必要だ。「無  
給」に対し反対する。  
急がず、もう一度練り  
直して、柴田町独自の条  
例をつくるべきだ。

賛成討論

杉本 五郎 議員

公務員は公務に専念す  
る義務を負って採用され  
ているが、この条例は抑  
え難い向上心に燃える職  
員の職務専念義務を免除  
するもので、公務上必要  
な研修とはおのずから区  
別すべきものであること  
から、無給は当然である。

後期高齢者医療制度の  
開始により、法令及び県  
条例に基づき町で行う事  
務等を定める条例制定と、  
本条例を受けて保険料徴  
収等を会計処理する特別  
会計設置に伴う条例の改  
正を可決しました。

反対討論

広沢 真 議員

後期高齢者医療制度は、  
医療に関わる国の責任を  
放棄し、自治体と高齢者  
に新たな負担を強いるも  
のである。この医療制度  
を実施することに反対で  
あり、国会でも後期高齢  
者医療制度廃止法案が提  
出され審議中である。

賛成討論

我妻 弘国 議員

本条例は、75歳以上の  
高齢者を対象に、現役世  
代との負担を公平化・明  
確化し、将来安定的な医  
療制度の運営に必要な  
ため、特別会計を設置、  
会計処理をするもので必  
要不可欠と考える。

## その他の主な議案

すべて原案可決

| 番号 | 議案名  | 主な内容  |
|----|--|---|
| 1  | 犯罪のない安全・安心なまち推進条例                                    | 自らの安全は自ら守るという意識を持ち、犯罪のないまちづくりに向けて町ぐるみで取り組む趣旨で制定                 |
| 2  | 学校教育施設整備基金条例   | 学校施設の計画的な整備と財源確保を図るための基金の設置                                     |
| 3  | 剣崎地区橋りょう整備基金条例                                       | 剣崎地区の橋りょう整備に要する経費の財源に充てるため基金を設置(指定寄附)                           |
| 4  | 課設置に関する条例の一部を改正する条例                                  | 人事は総務課、組織は企画財政課で担当していたものを両方総務課が担当。後期高齢者医療制度の創設に伴い、事務担当を町民環境課とする |
| 5  | 町長、副町長、教育長及び職員の給与並びに特別職の非常勤職員等の報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例 | 平成9年度から据置かれていた学校医の報酬額を引き上げる改正                                   |
| 6  | 国民健康保険税条例の一部を改正する条例                                  | 国民健康保険に加入の65歳以上75歳未満の前期高齢者の国保税を、年金から天引きする特別徴収ができるようになったことの改正    |
| 7  | 乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例                            | 乳幼児医療費の通院時の窓口負担の無料制度を3歳未満児から4歳未満児までに引き上げる改正                     |
| 8  | 国民健康保険条例の一部を改正する条例                                   | 高齢者の医療の確保に関する法律施行に伴い、特定健診等の義務付けにより、保健事業に加える改正                   |



# 議会懇談会を開催します

議会では昨年「議会報告会」を開催しました。今年は名称を「議会懇談会」に改め、昨年同様議会や町政に対する町民の意見・要望等を直接お聞きするために、下記内容にて懇談会を開催します。

活動報告の他、ごみ問題を懇談会のテーマに取り上げて、みなさんと意見交換を行います。多数の参加をお待ちしております。

- (1) 平成 19 年柴田町議会報告会にかかわる要望事項報告
- (2) 平成 19 年度柴田町議会活動報告
- (3) 懇談 テーマ「ごみ問題」
- (4) 意見交換

## 平成 20 年柴田町議会懇談会

| 開催日                 | 会場             | 対象行政区                                 | 担当議員                                   |
|---------------------|----------------|---------------------------------------|--|
| 7月6日(日)<br>午後2時～4時  | 保健センター<br>(4階) | 1.2.3.4.5.6A.6B.7A.7B.8.<br>9A.9B     | 小丸 淳・加藤克明・星 吉郎・白内恵美子<br>水戸義裕・加茂力男・伊藤一男 |
|                     | 槻木生涯学習<br>センター | 13.14.15.16.17A.17B.18A.<br>18B.19.20 | 杉本五郎・大坂三男・大沼喜昭・我妻弘国<br>有賀光子・太田研光・加茂紀代子 |
|                     | 船迫生涯学習<br>センター | 10.28.29A.29B.29C.29D                 | 水戸和雄・佐藤輝雄・百々喜明・森 淑子<br>広沢 真・大沼惇義       |
| 7月13日(日)<br>午後2時～4時 | 農村環境改善<br>センター | 21.22.23.24.25.26.27                  | 小丸 淳・加藤克明・星 吉郎・白内恵美子<br>水戸義裕・加茂力男・伊藤一男 |
|                     | 西住公民館          | 30                                    | 杉本五郎・大坂三男・大沼喜昭・我妻弘国<br>有賀光子・太田研光・加茂紀代子 |
|                     | 船岡生涯学習<br>センター | 11A.11B.11C.12A.12B                   | 水戸和雄・佐藤輝雄・百々喜明・森 淑子<br>広沢 真・大沼惇義       |

■ 指定された会場以外でも参加できます。 ■ 問合せ先 柴田町議会事務局 ☎ 55 - 2136

### 請願 産業建設常任委員会審査

町道船岡西6号線の拡幅に関する請願

平成19年第4回定例会で委員会に付託された請願について、産業建設常任委員長から「採択すべきもの」と報告があり、本会議で審議した結果、報告のとおり採択することに決しました。

### 人事案件

固定資産評価審査委員の選任(新任)

齋藤和弘氏(東船迫二丁目)



委員の職務に対して誠意を持って行いたいと思っております。皆様のご指導・ご鞭撻の程よろしく願います。

### 中核病院長を囲み議員研修会を開催

4月18日(金)午前10時から町保健センターにおいて、みやぎ県南中核病院内藤広郎院長を講師に迎え、議員研修会を開催した。

中核病院の現状並びにこれからの地域医療および自治体病院のあり方に関する有益な講演内容でした。当日の参加者は、議員および町職員約60名でした。

今後の議会活動の参考にしてまいります。

委員会  
審議

# 議員定数報酬等調査 特別委員会

最終  
報告

## 調査のあらまし

議員定数・報酬と政治倫理に関する調査のため、19年3月議員提案の特別委員会を設置し、20年2月まで11人の委員で15回にわたり委員会を開催して、報告書をまとめました。

また、この間有識者の意見を聞くため、東北学院大学法学部の教授を招き、議員の定数と報酬に関する講話を聞きました。

さらに町民から公述人を公募して公聴会を開催し、議員定数の削減、報酬月額削減に関する意見を聴取しました。

調査報告に基づき、これらは3月定例会で条例改正をしました。

政治倫理条例は新規の条例制定であり、議員が政治倫理上基本的に守るべき内容を条例化したもので、議員がこれを遵守する心構えとしました。

なお、特別委員会は町民の方々に聞いていただくため、傍聴可能として情報を公開しました。



公聴会

### (1) 議員定数

現在条例定数は22人で、2人が欠員です。

議員定数は、自治体の財政難や議会に対する不満等から議員定数削減の傾向にあります。

また、近隣市町の議員定数は、大河原町が17人、村田町が14人、角田市が19人とそれぞれ2人から4人を削減した状況にあります。

本町においても、常任委員会構成及び町の人口規模、財政状況、地理的条件などの理由から総合的に判断し、18人が適当とまとめました。

### (2) 議員報酬

地方分権の進展により議員の果たす役割と任務が極めて重くなってきたこと、議員の専門性が求められる調査活動が必要であること、議員の専従性が高まっていること、若い人が議会に参入しやすいうようにすることなどから、議員報酬は引き上げが必要と考えました。

しかし、町は現在財政再建中であること、公聴会の意見が議員報酬の削減であったことを参酌し、議員報酬額を5割減額することとしました。

### (3) 政治倫理

本議会では、町民に信頼される議会づくりに向けて、町議会議員が町民の代表者として町政に携わる機能と責務を深く認識し、公正誠実、清廉を基本としながら、自らを律して町政の発展のために努めていかなければならないと考え、政治倫理条例を制定しました。



開催中の本議会

#### 政治倫理条例（抜粋）

##### 一、目的

この条例は町議会議員の政治倫理に関する規律の基本となる事項を定めることにより、議員の政治倫理の確立を図り、もって町民に信頼される民主的な町政の発展に寄与する。

##### 二、政治倫理基準の遵守

(1) 町が行う許可、認可又は請負その他の契約に関し、特定の個人、企業又は団体のために有利な取り計らいをしないこと。

(2) 政治活動に関し、政治的又は道義的批判を受けるおそれのある寄附等を受けないこと。

(3) 町職員の公正な職務執行を妨げ、その権限又は地位による影響力を不正に行使するよう働きかけないこと。

(4) 町職員の採用、昇任又は人事異動に関与しないこと。

(5) 常に町民全体の利益の追求をその指針として行動し、その地位を利用して金品を授受しないこと。

# 追跡 あれはどうなった？

今回から、「追跡」というテーマで、常任委員会の指摘事項や一般質問で問題になった案件についてその後の対応、取り組み状況を随時取り上げていきます。

## 城址公園からの眺望

### 現在までの経過

城址公園を訪れた町内外の観光客から、公園の山頂から蔵王連峰を眺望したいという要望があり、18年度・19年度の2回にわたり常任委員会は、所管事務調査で取り上げてきました。



蔵王連峰が眺望できるようになりました

町が土地所有者に働きかけ協力を求めたことにより、視界を妨げていた樹木を間伐していただき、今年の桜の季節は、遠く蔵王連峰が眺望できるようになりました。

## 剣崎地区橋りょう整備 指定寄附

### 現在までの経過

(1)平成10年に、柴田町下名生剣水土地地区面整理組合の清算人から地区南側の橋りょうの整備を目的とした3千600万円の指定寄附がありました。

(2)当時は実施に向け設計を進め、橋りょうと道路を一体的に整備する計画でしたが、阿武隈急行高架橋の交差部分の見通しが悪く、交通の安全確保が困難であり、その解決策が見出せないまま現在に至りました。

(3)その後、橋りょう整備について、19年開催した町民懇談会で地区から強い要望や指摘があり



阿武隈急行高架橋の交差部分

ましたので、本定例会で寄附金の目的を明確にするため、柴田町剣崎地区橋りょう整備基金条例の制定が提案され可決いたしました。

(4)剣崎地区橋りょう整備基金条例に基づき20年度当初予算に3千600万円の基金を積み立てました。

### 今後の予定

将来整備予定である都市計画街路、新栄通線のルートも考慮した橋りょう整備を検討していくこととなります。

# 一般質問

ズバリ



## あなたにかわって ここが聞きたい

Q & A



一般質問は3月10日から12日までの3日間で行われ、11人の議員が質問しました。質問と答弁の内容について、その一部を掲載します。今回から一問一答がわかりやすいように、**問**と**答**が交互になるよう掲載します。答弁者は、滝口町長、阿部教育長及び各担当課長等です。

**問** 今、町内では児童生徒が毎日通う学校の安全と教育環境の整備が最大の関心事となっている。町内の小中学校の建物は、建設後長期間経過したものが多く、老朽化や耐震性について不安の声が高まっている。学校施設の耐震強度調査はすべて実施したのか。そしてその結果はどうだったのか。

**答** 昭和56年以前に建設された建物の耐震診断を実施した。

**問** 診断の結果、槻木中学校校舎と船岡中学校校舎、船岡中学校体育館は耐震補強工事が必要と診断された。ただし、これは危険建物ということではなく、補強を行った方がよいという基準である。そのほかの建物は安全基準をクリアしている。

**答** 町の財政状況が好転しつつあり、財政推計から見ても2、3年以内には学校の校舎や体育館等の建設に着手できるようになるはずである。

**Q** 小中学校施設の整備計画を早急に



大坂三男 議員

**A** 最初に船岡中学校体育館を建て替える



船岡中学校体育館

早急に計画を示すべきではないか。

**答** 耐震診断の結果、補強工事が必要と診断された3施設は財政状況を勘案しながら、順次建て替えを進めていく。

その中で、一番最初に船岡中学校体育館の建て替えに着手する考えだが、建設時期については20年度の地方交付税額が確定後に決定する。



太田研光 議員

**Q** 木造家屋の耐震化を急げ

**A** 今後も、木造家屋の耐震化を進める



総合防災訓練

**問** 宮城県沖地震が30年以内に9割以上の確率で発生すると警告されている。しかし、震災が遠ざかってくると、地震について無関心の人が多くなっていく。

そこで、地震災害からみんなの命を守るため、災害の教訓を振り返る必要があると思う。

阪神大震災で6千人以上の人命が奪われた。大震災による死者の大部分は、倒壊した家や倒れたタンスやテレビによる圧

死、瓦れきに埋まっていた居室死である。町の耐震性の低い木造家屋は、約5千棟と言われているが、町の木造住宅の耐震診断助成事業の実績と今後の見通しは。

**答** 耐震診断助成事業の実績は、国・県の補助を受け、平成15・16年度に行なった木造住宅簡易診断が50件、16年度から現在まで実施している木造住宅一般診断が69件、合計119件となっている。

耐震診断は、建物の地

盤や基礎、構造体の状況、老朽度などを調査し、最終的に総合評点で基準の1.0以上であれば倒壊しないとしている。

今年度までの実施結果は、簡易診断は50件中47件、木造住宅一般診断は69件中64件、全体で119件中111件、93割の住宅が倒壊の危険があると評価された。耐震診断と木造家屋の耐震化を今後も進める。

**問** 世界一の学力を誇るフィンランドでは、読書は大切なことと考えられている。質の高い地域図書館と毎週学校を訪れる移動図書館から、子どもたちは簡単に本を手に入れることができる。

公共図書館のない柴田町では、平成18年に「子ども読書活動推進計画」を策定している。この2年間の進捗状況を伺う。

**答** 「子ども読書活動推進会議」を設置し、進捗状況を確認している。計

**Q** 子ども読書活動推進のために、学校図書館に司書の配置を



白内恵美子 議員

**A** 財政が好転したら、資格のある人を雇う方向で考える

画項目の進捗率は約44割でほぼ計画どおりである。

**問** 読書活動を推進するために、学校図書館に司書が必要ではないか。

**答** 計画にも人員配置の目標を挙げており、司書は必要だと考える。しかし、今は財政再建中であり、再建プランには職員の新規採用はない。

**問** 司書を正規雇用できないのなら、学校図書館と公民館を同列に並べ、必要性の高い学校図書館に先に9人配置すべきで



槻木中学校図書室

はないか。

**答** 先に9人配置し、残りの職員で他のサービスを行うのは相当困難だ。できる所から配置する。

**問** それでは何年先になるか分らない。せめて中学校に1人配置して3校を回る、小学校に2人配置して3校ずつ回るようにできないか。

**答** 財政が好転したら、資格のある人を嘱託として雇う方向で考える。



水戸義裕 議員

**Q** 高く売れる米づくり戦略へ転換を

**A** 総合的な体質強化を図っていく



J Aみやぎ仙南米倉庫

**問** 中国産の輸入食品からの農薬検出問題で、国内では食の安全安心への意識が高まった。さらには食料自給率も話題となる中、今年も生産調整が強化された。米価下落と産地間競争での生き残りをかけて柴田産米のブランド化戦略の必要性がある。柴田産米独自のブランド化により、買ってもらえる米作りから高く売れる米作りへの転換、食味の向上など食味鑑定士による生産や販売など

**答** 田の米づくり戦略を伺う。仙南の広域的範囲の中で県の推奨する特別栽培米のレベル向上と安全安心な米作りに関係機関連携して取り組む。食味鑑定士など米の評価についても考慮するが、県の方針に沿って進めていく。

**問** 米の低価格に対応できる経費削減の経営対策や、本町でも一部試行している直播や疎植栽培などの町の指導について伺う。

**答** 経費削減については、低価格資材・機材の導入、効率化・省力化など経営の工夫によるコストダウンの取り組みの可能性を考える必要がある。直播栽培は15割減反に数えられるが、特別栽培米の認証など総合的に考えたい。疎植栽培は進めるべきと思うので、機会を捉え関係団体に推進を図るべく説明し、啓蒙をしていく。

異常気象や国際情勢の変化により、食材をめぐる大きな変化が起きている。海外で穀物需要が急増している。中国では10年で大豆の輸入量が9倍となり、7カ国が小麦の輸出規制を始めた。柴田の子どもたちに何をどう食べさせるか、長いスパンでの考え方を示す必要がある。海外からの輸入なくしては成り立たない食生活を見直し、農業再生の好機ととらえて学校給食の改革を求める。

**問** 冷凍加工食品の利用を減らせないか。

**答** 現在、1食当たり総量の5割から4割の冷凍加工品を利用している。1日3千500食提供する上で、①日本では年間通して安定的に確保できる原材料が限られる②冷凍加工品は価格が安く安定して供給されている③給食センターの設備、作業時間や調理能力の問題等があり使用せざるをえない。

**問** 柴田町食育推進計画の概要は。

**答** 3千人を対象にアンケート調査を実施した。①柴田町の農産物認知度が低い②食文化や伝統料理への関心が低い③食事を楽しみにしていないなど現状と課題を把握。家庭への啓発と情報発信を中心に目標を設定した。

**問** 食生活改善推進員の活動を学校給食に生かさないか。

**答** 給食時間等に食に関する指導など計画する。



森 淑子 議員

**Q** 学校給食で農業振興を

**A** 農産物の掘り起こしと生産者の情報を収集



給食に使われるほうレン草畑



広沢 真 議員

**Q** 農業の振興で安全安心な学校給食を

**A** 地場産食材をできるだけ活用していきたい



水稻播種作業

**問** 食品偽装や農薬入り餃子などの事件が多発しているが、学校給食食材の安全はどのようなチェックをしているか。

**答** 食材を優先的に、町内産、県南産、国内産の順に選定し、納品にあたっては原産地、品質、製造証明などをチェックしている。

**問** 地場産の食材を使うことについてどう考えるか。

**答** すべて地元でそろえるのが理想的だが、毎食分

の数量をそろえるのが困難だ。今後、提供してもらえる生産者を探したい。

**問** 食材の高騰にどう対応するか。

**答** メニューで工夫し、栄養量や分量を減らさないうようにしたい。

**問** 地場産食材を支える農業の振興についてどう考えるか。

**答** 農業生産者がかなり高齢化し、後継者が育っていない。再生産可能な価格保障がないため、価格保障まで踏み込む必要

があると考えられる。

**問** 生産者、後継者を育成するためにどのような対策を考えているか。

**答** 価格保障まで踏み込むことが必要。これからJAや全農とも相談し、資材供給、販売経路など、総合的に検討が必要であり、今後の課題だ。



我妻弘国 議員

**Q** 滞納整理のために町長自ら督促に歩く考えは

**A** どうしたら少なく出来るか考えるのが町長の役目



**問** 平成9年から18年までの10年間で、7億3千156万円の滞納額があり、納めてもらえない税金等の不納欠損額も3億6千761万円となる。この金額の多さをどうするのか。

**答** 現年度徴収を基本に、滞納繰越額の縮減に努める。悪質滞納者には法的処分を考え、不納欠損額は法に基づき処分を実施する。

**問** 仙南広域の滞納整理課に委託している滞納徴収率をどのように考えて

いるか。

**答** 平成18年は15・25パー、19年は28・23パーとなっている。町の段階では滞納整理ができない悪質な方であり、アナウンス効果を期待しているところもある。

**問** 国民健康保険税は近隣市町村と比較して高いが、税率の修正はできるか。

**答** 交付金の兼ね合いもあるが修正は可能である。

**問** 多額の滞納解消のため、町長自ら督促の必要

性があると考えられるか。

**答** 滞納整理をどのようにしたら少なく出来るかを考えるのが町長の役割である。

**問** 中核病院が救急指定病院のため、夜間診療による経営圧迫が指摘され、自治体の赤字転落が予想されている。病院経営の議論ができる環境を作ってほしい。

**答** 救急病院のあり方・経営内容などについての議論をしていきたいと考えている。



有賀光子 議員

**Q** 乳幼児医療費助成の拡大を

**A** 22年には就学前までに引き上げる



歯科健診

**問** 子育て支援策を充実させるために国では、20年4月から乳幼児医療費の窓口2割負担を、これまでの2歳児から小学校入学前まで拡大する。町でも今年から、乳幼児医療費助成が3歳未満児から4歳未満児に引き上げられ無料になるということで大変喜ばれている。小学校入学まで無料にしてはどうか。

**答** 子育て支援なくして少子化対策はないと考える。少子化問題は現在の人口を維持できないばかりか、経済全般、社会保障、年金等に大きな影響を与える深刻な問題である。町の少子化対策の重要な施策として、子育て支援プロジェクトを重点項目に上げている。

20年10月から、医療費助成を3歳未満児から4歳未満児に引き上げる。また、県内の状況を見た時、就学前まで拡大している市町村が多くなっている。町も21年、22年と一歳ずつ引き上げて、22年には、就学前までの助成を実現していく。

**問** 妊娠婦への配慮を呼びかけるため、マタニティマークのキーホルダーを無料配布してはどうか。

**答** 19年4月から、マタニティマークの布ステッカー5枚1組を無料で配布している。



小丸 淳 議員

**Q** どうなったかウォーキングコースの安全確保策は

**A** 関係機関等と調整し、対策を講じていく



桜回廊(船岡土手内地区)

**問** ウォーキングは、生活習慣病の予防、改善に極めて有効であると言われていている。町は、船岡・槻木・船迫の各地区にコースを設定しているが町民の反応と利用状況は、

**答** 19年度40歳以上の受診者5千554人中、約3割以上が生活習慣病の予備軍または有病者と推測され、今後、増加傾向にあると言える。

**問** 調査はしていないが、好評をいただき反応は良好と受けとめている。コースの特徴と時間帯を考え、楽しく利用されていると思う。

**問** 以前、質問でウォーキングコースの快適性と安全性確保のため、土手内堤防上の交通規制を提案したがどうなったのか。

**問** 同趣旨で、西船迫保育所側から上野山へ上る林道の交通規制は。

**答** 20年2月26日に、大河原警察署と県公安委員会から土・日・祝日の時間規制を実施する旨の連絡を受けている。20年度

**答** 林道は、森林所有者の寄附採納で整備した経緯があり、森林の施業に支障を来すことから同意が得られなかった。時代が経過しているのもで再度話し合ってみたく、車両運行者にご協力を願う看板を立てることは、早急に対応したい。





佐藤輝雄 議員

**Q** ラストチャンス  
3町合併を  
どう見ているか

**A** 道州制の合併まで  
待っていただきたい



町境(清住町)

**問** 前回、3町合併を目  
指した理由は何か。

**答** ①高齢化社会を迎え、  
地域に元気が無くなった  
こと②自治体が財政危機  
に直面していること③地  
方分権に対応し、市民が  
主役の自治体をつくるこ  
と④3町合併のスケール  
メリットを活かし、財政  
危機を乗り越え自立のま  
ちづくりができることで  
ある。

**問** 今回合併しない、自  
立の町へ変わった理由は、  
①前回3町合併を進

めた民間団体が対応しな  
いなど、町民の盛り上が  
りがない②合併市ではス  
ケールメリットを活かせ  
ず財政難に苦しんでいる

③合併した市町の方が柴  
田町より交付税が減額さ  
れている④本町の財政再  
建プランが順調で、7億  
6千万円の貯金があった  
⑤トナー工場建設で町に  
勢いが生まれ将来に不安  
がなくなったことである。

**問** 安定した行政サービ  
スとはどの程度をいうの  
か。

**答** 数値目標を挙げるの  
は難しいが、全体で町民  
の要望にある程度サービ  
スができ、町民もその予  
算の範囲内でやむを得な  
いというところであれば  
安定と考える。

**問** 県試算の実質公債費  
比率では平成22年は、村  
田町18・2パーセント、大  
河原町11・9パーセント、  
柴田町はどうか。  
**答** 平成25年まで比率は  
20パーセントで推移すると予測  
している。



加茂力男 議員

**Q** 剣水土地区画整理組合  
からの指定寄附はどう  
なったのか

**A** 橋りょう整備基金として  
積み立てる



剣崎地区の橋りょう

**問** 平成10年5月25日に、  
下名生剣水土地区画整理  
組合から橋りょう整備資  
金として3千600万円が町  
に寄附された。月日が経  
つのは早いもので10年目  
を迎えたが一向に動きが  
見えない。この件につい  
て、元議員の小林元一郎  
氏も一般質問している。  
また、地権者、住民より  
その後どうなっているか  
と聞かれても返答ができ  
ない。

そこで、橋りょう整備  
について、現在どのよう  
に考えているのか。今後  
の見通しについて伺う。  
**答** 昨年開催した町民懇  
談会において、地域の住  
民から強い要望、指摘が  
あった。本定例会に柴田  
町剣崎地区橋りょう整備  
基金条例制定を提案し、  
3千600万円の基金積み立  
てを20年当初予算に上程  
している。住民と話し合  
いながら新栄通線の橋  
りょうと併せて検討する。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 白内恵美子 議員

- 問** 医療費削減のため、喫煙により病気リスクが上昇することを住民に周知すべきでは。
- 答** 喫煙による健康への悪影響を積極的に情報提供し、5月31日からの禁煙週間を検討する。
- 問** 昨年は若者の間で「はしか」が大流行したが、今年はどうの対策を立てているのか。
- 答** 厚労省は5年間の期限付きで、中学1年生と高校3年生にワクチン接種を義務付けた。
- 問** 高校を中退した子の居場所、相談の場が必要。フリースクールへ場所の提供をすべきでは。
- 答** 町民に信頼される活動を、まず展開してほしい。その後に応援するのはやぶさかではない。

### 広沢 真 議員

- 問** 後期高齢者医療制度による国保会計の負担増はあるのか。
- 答** 制度開始時は国保会計の新たな負担は微増で、今後は増えていくと予想される。

### 我妻弘国 議員

- 問** ゆとり教育路線転換で平成21年度から新路線へ移行措置期間に入るが問題はないのか。
- 答** 文科省・県教育委員会の計画と指導のもと研究と準備をし、計画的に出来るよう努力する。

### 有賀光子 議員

- 問** 視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業の導入を。
- 答** 導入した各自治体の状況を確認し、本町の利用者に一番かなう仕組みを導入したい。

### 大坂三男 議員

- 問** リコーのトナー工場進出など、柴田町への企業立地が進展している。町の支援体制は。
- 答** 立地を円滑に推進するため「企業立地整備支援対策本部」を設置し全庁的に支援していく。
- 問** 20年度税制改正により「ふるさと納税制度」が導入される。町はどう対応するのか。
- 答** 柴田町としての魅力を高め、納税者が本町に寄附したいと思われる施策を展開していく。

### 水戸義裕 議員

- 問** 小中学校に二学期制を導入し、時間的、精神的余裕の中で教育環境の向上を図っては。
- 答** 町でも過去に議論されたが結論は得られず、今は新指導要領の徹底を図るよう努めたい。

### 森 淑子 議員

- 問** 住民の活動の拠点、情報交換の場として市民活動サポートセンターの設置を。
- 答** 20年度に協働のまちづくりプロジェクトの中で運営の調査検討を実施していく。

### 加茂力男 議員

- 問** 船岡中学校のフェンスは破損がひどい。町の見解を伺う。
- 答** 当初予算で西側と南側約220メートルを新規に取り替える。その後東側を整備する。



# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
年4回各課の仕事を  
調査しています。

## 総務

■日時 平成20年2月5日～6日  
■調査内容

- ・新長期総合計画及び次期計画策定状況
- ・財政の現状と各種財政指標の状況
- ・町税の徴収状況等の現状
- ・コンピュータ関連契約締結の現状

### 長期総合計画等の 計画期間の見直しを

#### 《企画財政課》

次期長期総合計画策定に当って、シンクタンクへの委託を最小限にすることや、財政運営の健全性を確保するため財政シミュレーションを組み入れることとしており、実現に向け鋭意努力すること。

また、計画期間を現行の10年から8年に短縮し、基本計画も5年から4年に短縮する必要があると思われる。

#### 《税務課》

今年度から税収納対策監を配置したほか、収納率向上対策計画を策定・実践し、税務課の総力を挙げて滞納額の縮減と収納率の向上を図り、収納率は98%以上を維持している。今後も、各種施策に積極的に取り組み、税目ごとに設定した収納数値目標の実現に鋭意努力のこと。

## 文教厚生

■日時 平成20年2月13日・15日  
■調査内容

- ・体育館、運動場、テニスコートの現状
- ・第一幼稚園の管理運営状況
- ・けやき教室の状況
- ・宮城県仙南総合プールの状況

### 体育館の修繕を早急に

#### 《生涯学習課》

(1) 船岡体育館床面の損傷が激しく、このままでは利用者の安全確保に問題があると思われることから、全面補修を早急に実施すること。

(2) 柴田町民体育館では雨漏りがひどく、現在は応急的な措置をしているが、階段状の観覧席には相当の浸水が見受けられる。

このまま放置しておけば、今後の体育館使用に大きな障害となるばかりか、修繕経費も増大してくると思われることから、早急に修理すること。

## 産業建設

■日時 平成20年2月7日  
■調査内容

- ・大雨時における冠水地区の状況
- ・車両センターの運営状況
- ・新田及び上中川地区配水管工事状況
- ・山田沢高区及び船迫配水場の現状

### 大雨時における 水害防止策の検討を

#### 《都市建設課》

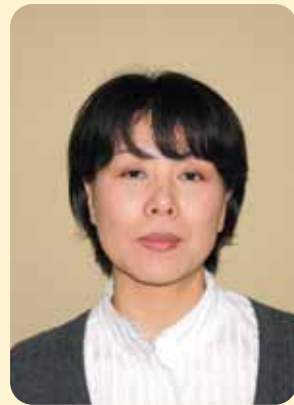
(1) 大雨時の船岡西地内の道路冠水は、側溝への逆支弁設置や蓋をグレーチングに変更することにより、ある程度軽減できるのではないかと考えられるので検討・実施すること。

(2) 大住公園周辺の地盤沈下により、一部の側溝は平常時でも雨水等が滞留している状態で、衛生・環境面において問題があると思われることから、解消策を講ずること。

(3) 本年度から車載式融雪剤散布機を導入したことにより、従来に比べ人員や経費が削減されている。

今後、当該散布機を積極的に活用し、冬季における通行車両等の安全確保に努めること。

# あなたの一言



日下千恵子 さん  
(富沢字宝龍)

未来へ向けて

●柴田町に住んで良かった点は、

地域の人たちに恵まれ、また、いつもみなさんに支えられ明るく生活できることです。

望みます。

●議会だよりを読んでいますか。

たまに読んでいます。以前より読み易くなっています。

●柴田町で好きな風景は。

富沢街道から見える榎木大橋のオレンジ色の街灯、県町営住宅の灯りと家々の小さな灯りが織りなす夜景です。

●議会、議員に何を望みますか。

大小さまざまな行政問題をたくさん抱えていると思いますが、町民の方々の声も大切にして、より良い問題解決をお願いします。

●町に何を望みますか。

未来を担う子ども達の個性を伸ばし育てることのできる環境づくりと、住みやすい町づくりを

## いっしょに勉強しませんか

— 公開議員研修会 —

日時 5月24日(土) 午後1時30分～4時30分

場所 柴田町保健センター 4階軽運動場

対象 どなたでも参加できます。

演題 主題「ごみの処理と減量化を考える」

講師 副題①「仙南地域の一般廃棄物処理状況とごみ減量方法について」  
宮城県資源循環推進課職員

副題②「新クリーンセンターの現状について」  
仙南地域広域行政事務組合業務課職員

## 編集後記

新緑が一段と目に飛び込む季節になりました。昨年は、船岡城址公園山頂の桜がウソの被害で花が咲かず、大変残念でしたが、今年は被害に遭わず見事な花が咲きました。また、周りの樹木がなくなったため、素晴らしい景観が見えるようになりました。

本定例会において議員定数が現行の22人から4人減の18人に決まり、21年3月の選挙から適用します。

また、今回の議会だよりから、新企画「追跡あれはどうなった」を掲載します。

これからも皆様に親しまれ、読んでいただける議会だよりづくりに委員一同頑張ります。

広報委員 有賀 光子

お待ちしております! ぜひ、議会の傍聴を!!

第2回定例会は

6月6日(金) 午前10時開催予定

一般質問は

6月9日(月)・10日(火)・11日(水)の予定

詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

## カセットテープ版 「声の議会だより」 廃止のお知らせ

平成17年8月1日発行の「しばた議会だより109号」から「声の議会だより」カセットテープを作成して、貸し出しをしてきましたが、利用者がほとんどいないため本号から廃止することにしました。

町議会事務局